

2025年5月15日

読売テレビ放送株式会社

不適切な会食等に関する調査状況と 人権尊重の取り組みについて

読売テレビでは、1月22日にグループ内部通報窓口やハラスメント相談窓口を社内で改めて周知するとともに、具体的な相談を呼びかけました。また、職場環境改善の参考とするため、1月29日から「セクシュアルハラスメントにあたる可能性のある会食等に関するアンケート」（匿名）を社員、グループ会社社員、スタッフ、取引先などを対象に行っています。併せて、入社3年目までの社員（キャリア採用者を含む）やアナウンサー全員へのヒアリング調査を実施しました。

その結果、本日までに「通報窓口」「相談窓口」に対して、不適切な会食等に関する新たな通報はありませんでした。

一方、匿名アンケートやヒアリング調査では、番組出演者等から性暴力による重大な人権侵害の被害を受けたという事案は確認されませんでした。ただし、会食等でのハラスメントや人権侵害に該当する可能性のある指摘があり、調査が必要なものについて関係者へヒアリングを行うなど対応を続けています。

寄せられたアンケートの回答などを参考に、今後、職場環境の改善につなげていきます。

読売テレビグループは、法令遵守と社会的良識に基づいた高い倫理観を持ち、公正で健全な事業活動に努めています。読売テレビのコンプライアンス憲章は、「基本的人権を尊重し、人間の尊厳を重んじる社会の形成に尽力します」と掲げ、コンプライアンス行動指針では具体的な人権尊重の取り組みを明記しており、役職員に遵守を求めるとともに、外部の協力会社にも研修、面談等を通じて遵守を求めています。これらをベースにして2025年4月、「読売テレビグループ 人権尊重方針」を策定し、読売テレビグループ全体で改めて人権尊重への取り組みを徹底することを表明しました。

読売テレビグループ 人権尊重方針 | 読売テレビ (ytv)

また、人権尊重、コンプライアンスに関する知見を深めるため、毎年定期的に全社コンプライアンス研修会や人権研修会などを開催しているほか、社内各部局にコンプライアンス責任者を配置し、毎月、責任者会議を開催し、取り組みの周知徹底や社会一般に求められる倫理観や問題意識のアップデートに努めています。

このほか、内部通報窓口やハラスメント相談窓口について社内ポータル等を通じて周知を行い、相談があった場合には迅速に調査し、是正すべき点が見つかれば必要な措置を取るなど対応し、職場環境の改善に努めています。